

取付作業前にこの説明書をよくお読みください

この度はNAG SED内圧コントロールバルブ(NAGバルブ)をお買い求め頂き誠にありがとうございます。  
この説明書は内圧コントロールバルブの標準的な取付方法をご案内するものです。取り付けをおこなう車体の年式、個体差により取り付け方法が異なる場合があります。  
また、製品の仕様(グレード)によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなってください。

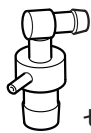
### 1 セット内容

最初にご確認ください。

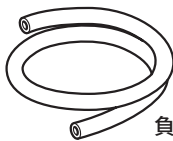


NAGバルブ本体

エマルジョン対策仕様のみ付属



セパレーター



負圧チューブ

### 【ご注意下さい】

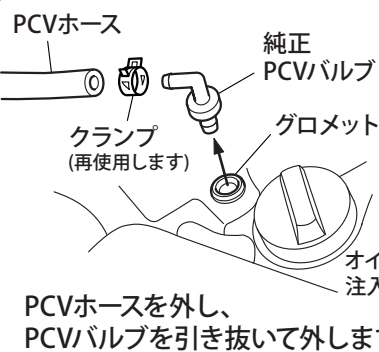
NAGバルブの固定は純正クランプ、もしくは  
ナイロンストラップでおこなってください。

金属バンド等で過度の締付をおこなうと変形し、  
動作不良の一因となる恐れがあります。

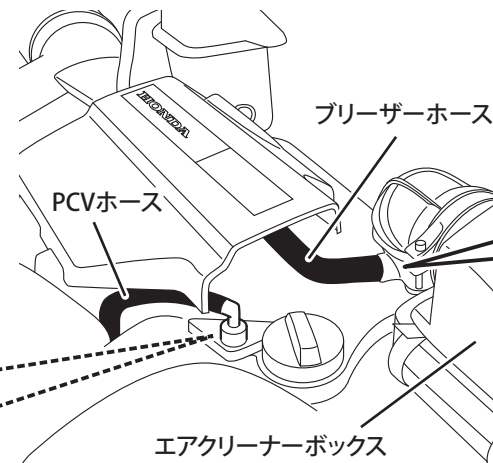
### 2 取り付け場所の確認 取り付け準備

#### 純正PCVバルブを外します

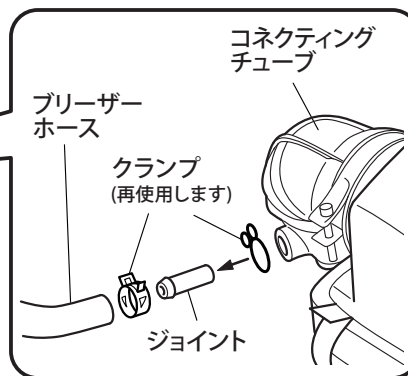
(エマルジョン対策仕様のみ)



PCVホースを外し、  
PCVバルブを引き抜いて外します。



#### ブリーザーホースを外し、コネクティング チューブからジョイントを抜きます。

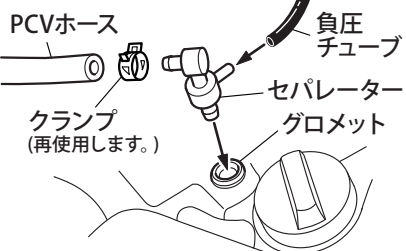


### 3 NAGバルブの取り付け

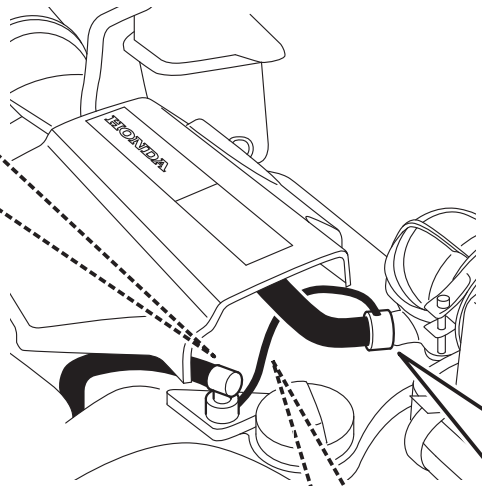
#### セパレーターの取付

(エマルジョン対策仕様のみ)

純正PCVバルブを外したあとに、  
セパレーターを取付ます。



セパレーターをグロメットに差し込み  
PCVホースを元のように取付けます。



#### NAGバルブの取付

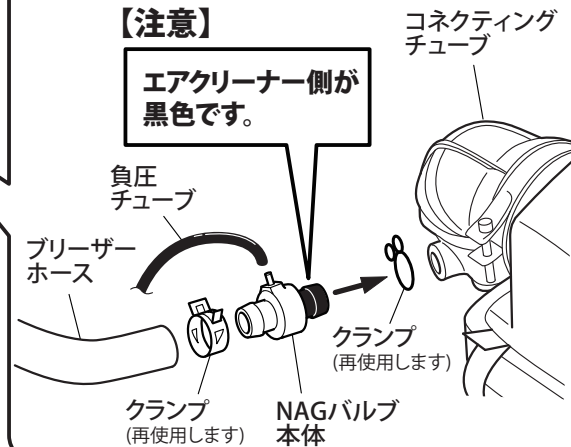
取付方向を厳守して装着してください。

コネクティングチューブから外したジョイントの  
代わりに、NAGバルブを差し込みます。

NAGバルブの固定には  
純正のクラップを再使用します。

#### 【注意】

エアクリーナー側が  
黒色です。



#### 負圧チューブの接続

(エマルジョン対策仕様のみ)

NAGバルブとセパレーター間を付属の負圧チューブで接続します。

セパレーターとNAGバルブ間を結ぶ負圧チューブが余裕を持った取り回しになるように  
接続してください。

寒冷地においてはチューブ中央が上がった山なりの配管にすることで、  
チューブ内に水分が残るのを防ぎ、凍結防止対策となります。

以上で取り付けは終了です。再度取付方向、部品の固定を確認してご使用ください。ご不明の点はお問合せください。

#### 定期清掃について

本品はエマルジョンの処理は出来ますが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。  
スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。  
長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1~2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお願いします。

#### 清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いで清掃してください。  
汚れがひどく上記の方法で除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。